

# 関係性精神療法セミナー

## 無意識的空想

このセミナー・シリーズは、2011年に第1回が開かれ、今年で第10回目を迎える。関係精神分析（関係論、関係性理論、関係性精神療法）は、対象関係論、サリバン派、コフォート派、間主観性理論、自我心理学などを包括的に含み、現代のアメリカの精神分析の新しい流れを総括するものである。

これまで本セミナーでは、エナクトメント、動機づけシステム、共感と解釈、フェミニズム精神分析など、精神分析の根幹に関わるテーマを取り上げ、基本に立ち戻りつつ、新たに再検討してきた。当セミナーや日本精神分析学会の教育研修セミナーにおける企画を通して、その理解は徐々に広がりつつある。

今年は、精神分析の原点に戻り、「無意識空想」をテーマとして選んだ。無意識的空想は精神分析の重要な基本概念であるが、その意義については議論の分かれるところである。特に関係精神分析の流れの中で批判的に論じられることも少なくないこの概念について、本セミナーではさまざまな角度から考え直してみたい。その際、非意識あるいは新無意識などの新しい概念も紹介しながら、無意識そのものについても掘り下げ、議論を深めていきたいと考えている。初学者にも分かり易く伝えることを心掛けながら、一方で、最新の知見も交えて解説していきたい。さらに、アンケートなどを用いながら、参加者と積極的に対話を進めていきたいと考えている。

- 参考文献：** 岡野憲一郎著（2018）『精神分析新時代—トラウマ・解離・脳と「新無意識」から問い直す臨床場面での自己開示と倫理』（岩崎学術出版社）  
富樫公一著（2018）『精神分析が生まれるところ』（岩崎学術出版社）  
吾妻壮著（2019）『精神分析の諸相：多様性の臨床に向かって』（金剛出版）  
Koichi Togashi (2020) *The Psychoanalytic Zero: A Decolonizing Study of Therapeutic Dialogues*. New York & London: Routledge.

- ◆ 日 時：2020年7月5日（日曜日） 午前10時～午後3時  
（進行具合により多少の延長も考えられます）
- ◆ と ころ：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター  
〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8番地
- ◆ 発 表 者：吾妻壮（上智大学）・富樫公一（甲南大学）・岡野憲一郎（京都大学）
- ◆ 司 会：岡野憲一郎、吾妻壮
- ◆ 受 講 料：6,000円
- ◆ 定 員：60名
- ◆ 申込方法：参加申込書にご記入の上、郵送またはFAX・Eメールでお申し込みください。  
受講の可否をはがき及び申込書に記載のEメールにてご連絡いたしますので、振込み先をご確認の上、受講料をお振込みください。
- ◆ 申 込 先：〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6階  
小寺記念精神分析研究財団セミナー事務局 FAX 03-3350-9749  
E-mail：[kodera.kt@nifty.com](mailto:kodera.kt@nifty.com)
- ◆ 申込期限：2020年6月29日（月曜日）

主催：小寺記念精神分析研究財団

# 関係性精神療法セミナー参加申込書

## 「無意識的空想」

2020年7月5日（日）

本参加申込書は、下記住所まで郵送または FAX・E メールにてお送り下さい。※Eメールの場合は、件名「7月5日開催セミナー申し込み」として、本文に下記必要事項をご記入下さい。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4SC ビル 6 階  
小寺記念精神分析研究財団事務局

FAX (03) — 3350 — 9749

申込期間 6月29日（月）まで期間厳守 申込 月 日

フリガナ 氏 名		男 ・ 女 (19 年生)	
勤 務 先			
所 属		職 種	経 験 年

(どちらかを○で囲んでください) 自宅 ・ 勤務先

連 絡 先 住 所	〒		
自 宅	電話	FAX	
勤 務 先	電話	FAX	
e-mail アドレス			

### 参加費：6,000円

\*先着順に受け付けます。参加の可否については、受付後順次連絡先住所にはがきまたは申込書に記載のEメールアドレスに連絡いたします。その際振込先もご案内いたします。  
定員になりしだい締め切ります。

本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○を付けて下さい。

郵便 ・ ホームページ ・ メール ・ 知人の紹介 ・ その他 ( )

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡及びご案内のみに使用いたします。